

報告

学務系事務職員研修(SD)に参加して

丸山 恵理

(徳島大学学務部学務課就職支援係)

私は今回、徳島大学初めての試みである学務系事務職員研修(SD)に参加しました。場所は、淡路にある国立淡路青少年交流の家というところで、一泊二日での研修でした。教員の方々のFDプログラムも同時に実施されており、行きバスでは教職員がお互いに自己紹介したりと、ささやかな交流が生まれました。

到着後、記念撮影をして、荷物・機材を運びました。その後、オリエンテーションで研修についての説明を受け、今後の日程等についても指示がありました。オリエンテーションの後、教員と事務職員は別々のプログラムに入り、部屋を移動後、私たち学務系事務職員は「学務系事務職員の仕事」について、学務課長のお話を拝聴しました。ごく基本的な内容でしたが、日頃の心構えを再認識し、研修に臨む姿勢を改めて作ることができました。

昼食後は、「学務系事務職員の現状と課題について」というテーマで、グループワークに取り組みました。4人という少ないグループではありましたが、それぞれが携わっている職務が違っており、また、職場環境にも違いがあることから、意見をまとめるのが大変でした。私は発表者の役だったので、司会者の方と一緒に意見をまとめつつ、発表の構成を作りました。なかなか良いまとめができたのですが、時間がなくてうまく発表用の用紙に書くことができず、少し残念でした。

一日目最後のプログラムはプレゼンテーションで、「所属部局の紹介」というテーマで自分の職務について説明し、PRをするというものでした。原稿については事前に作成していましたが、私も含め、ほとんどの方が十分な練習ができておらず、本番では表現力や時間配分の点で苦戦しました。

私の場合は、発表のネタは多くあり困らなかったのですが、10分という発表時間内に無理やり全てを詰め込んでしまって、少々早口になってしまいました。ただ、熱意だけは伝わったようで、それは良かったと思います。全体的に未熟なプレゼンテーションとなってしまいましたが、事務職員という立場ではあまりプレゼンテーションをする機会がないので、実際に体験するという点では非常に有意義だったのではないのでしょうか。

そして、夕食後の交流会も、教員と事務職員の交流という貴重な体験になりました。普段は仕事の場で教員の方と接する機会はありますが、こういった職務外の場で交流することはあまりなく、今回の交流会を通じて教員の方々の本音や気軽な意見を聞くことができ、とても良かったです。この研修だけでなく、他でも交流会を設けることができれば、教員と事務職員の相互理解はきっと深まることでしょう。

二日目は、朝の集いと朝食が終了後、皆で掃除をしてから退室し、そのまま各研修室へ向かいました。私たち事務職員は、最初に川上副学長より「教員が望む学務系事務職員像」についての講義を拝聴しました。これからの事務職員の在り方を始め、国立大学法人そのものの在り方について、大変参考になりました。

続いて、一日目とはテーマを変更して、グループワークに取り組みました。今回のテーマは「教員との連携について」というものでしたが、これについては部局間でそれほど意見の違いはなく、4人それぞれの意見が似たようなものでした。私たちの班では、教員との連携を良くしていく手段として、業務上では教員側・職員側双方の仕事の理解等が挙げられ、その他にはコミュニケーション

ン不足の解消が挙げられました。どちらも、今回の研修を通じて改善していけるところが多く、今後の参考になるのではないかと思います。

グループワークのまとめが終わると、今度は全体プログラムとして、教職員皆で京都大学大山泰宏助教授の講演を拝聴しました。「学生を『理解』するということは」という演目で、日頃学生に接するときの言動等について大変参考になる話を聞くことができました。講演後は、大山先生への質問カードを記入し、昼食後にその質問に対して答えをいただきました。やはり、教員も事務職員も共に学生への対応は関心が高く、多くの質問があったようでした。全体として学生の内面に関わる話が多かったのですが、私は心理学を専攻していたこともあって、感覚的に受け入れやすかったです。

その後、教員側と事務職員側それぞれの研修について代表者から報告があり、続いて最後のプログラムに移りました。二日目最後のプログラムは、これまでのグループワークのまとめで、班別発表でした。テーマが二つあったので、一日目のテーマは私が発表し、二日目のテーマは、書記を担当していただいた真名野さんが発表しました。私たちの班の講評では、全体として内容はうまくまとまっているが、両テーマ共に記載の仕方がやや安直とのことでした。時間がなかったこともありましたが、もう少し色を使ったり図を描いたりすればよかったと思いました。

全プログラムが終了後、修了証書を授与され、研修が終了となりました。改めて振り返ってみると、この研修は二日間という短い間でしたが、普段は経験できないようなプログラムがあり、今後の業務に生かしていける良い体験となったと思います。これからは、教員だけでなく事務職員もスキルアップが望まれる時代です。私も今後さらに、新たなことにチャレンジしたり、積極的に研修に参加したりと、自分の能力を高めていこうと思います。最後に、今回の研修をお世話して下さった皆様、共に研修に参加していた皆様、どうもありが

がございました。